

自閉症支援を考える

～虐待問題に向き合い、地域での暮らしを支えるために～

2021年11月3日（水）9：30～15：00

申し込み人数：131名

実施方法：オンライン

第一部 YouTube 配信

第二部 zoom



本研修は北海道行動援護従業者養成研修受講者に対するフォローアップとしての研修であり、虐待問題に向き合っていくために重要な、強度行動障がい支援の理解と孤立を防ぐためのネットワークづくりに関する内容を二部構成で実施しました。第一部は、当事者・家族も含めて自閉症支援を考える機会として、はるにれの里理事長の木村昭一より「自閉症支援のこれまでとこれから」ということで、はるにれの里のこれまでの動きと今後の課題について触れながら、自閉症支援の大切な部分について話をさせていただきました。

また自閉症者地域生活支援センターなないろ所長の加藤潔より「自閉症支援を考える」というテーマでの話をさせていただきました。自閉症支援のコアの部分を改めて考える機会となったと感じています。

第二部は対象を支援者限定とし、虐待問題についての話題提供とグループに分かれたディスカッションを行いました。行動障がいを抱えている方の外出支援は大きなリスクを伴うことが多く、支援技術の質の向上が虐待防止にもつながるということを改めて感じることができました。また、孤立感から悩みを解消することができず、虐待に至るケースもあり、ネットワークの必要性を強く感じています。

今回は北海道に限らず、全国からたくさんの申し込みをいただきました。特に第二部では、全国の支援者方々とコミュニケーションをとることができたのはオンライン研修の大きなメリットだと強く感じました。本当にご参加いただき、ありがとうございました。ご参加いただいた皆様今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

